

ベア交渉で決裂 ゴルフ場でスト

明智ゴルフ倶楽部労組

岐阜県内で五つのゴルフ場を運営する「明智ゴルフ倶楽部」の労働組合が11日、二つのゴルフ場で時限ストライキに入った。ベアスアップ(ベア)など待遇改善を求めた団体交渉が9日までに決裂した。全国一般岐阜一般労働組合は「ゴ

ルフ場のストは極めて珍しく、この10年では全国でも例がない」という。

「明智ゴルフ倶楽部労働組合」は2015年10月に結成され、パートを含め約400人の従業員のうち120人が加入する。労組のないゴルフ場も多い中で、同労組の組合員は総務やレストラン、コース管理など様々な部門に及ぶ。

ストは午前9時から午後

2時まで、「かしょゴルフ

場」(川辺町)と「賑濟寺

ゴルフ場」(美濃加茂市)

で。来場者にはストを知ら

せる文書を配り、「問題が

解決できれば従業員のモチ

ベーションも必ず上がり、

より良いサービスを提供で

きると信じております」などと理解を求めた。

組合側によると、レスト

ランは通常の昼食を提供で

きず、会社側が弁当を用意

したという。ストは12日も

続ける予定。

同倶楽部は、ゴルフ場運

営大手「富士カントリー」

傘下だったが、同社が04年

12月に倒産したため経営を

引き継いだ。以来、定期昇

給はあるもののベアは実施

していない。会社側は取材

に対し、「負債も抱えてお

り要望に答えられる(経営

の)体力はない」と説明し

た。

(松下和彦)



ストが決行された明智ゴルフ倶楽部かしょゴルフ場＝川辺町